

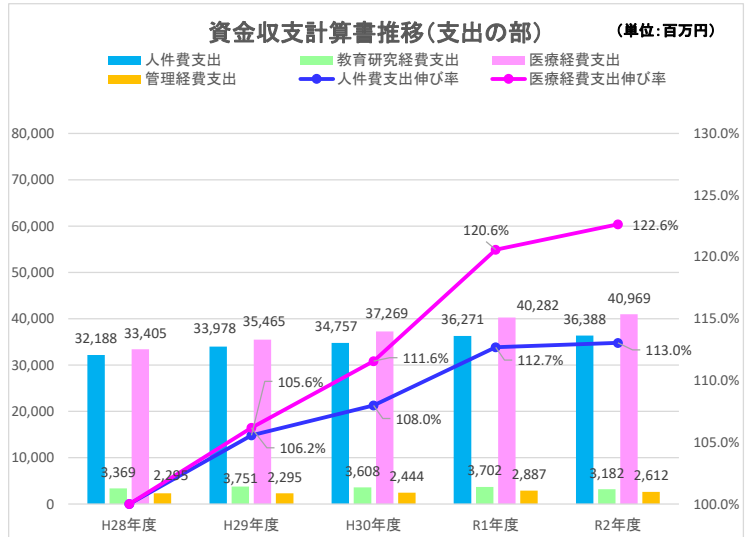
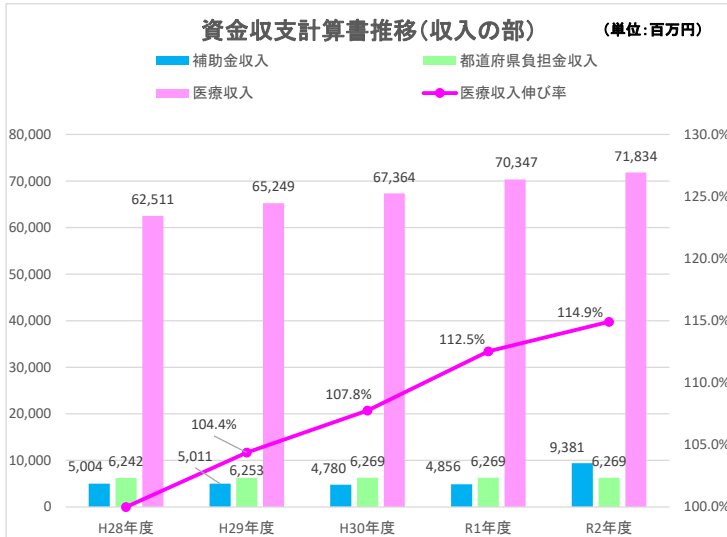
資金収支計算書

(単位 百万円)

収入の部				支出の部			
科 目	R 2決算	R 1決算	差 異	科 目	R 2決算	R 1決算	差 異
学生生徒等納付金収入	(3,564)	(3,564)	(0)	人件費支出	(36,388)	(36,271)	(117)
手数料収入	(60)	(68)	(△8)	教育研究経費支出	(3,182)	(3,702)	(△520)
寄付金収入	(674)	(567)	(107)	医療経費支出	(40,969)	(40,282)	(687)
補助金収入	(15,650)	(11,125)	(4,525)	管理経費支出	(2,612)	(2,887)	(△275)
国庫補助金収入	3,431	2,924	507	借入金等利息支出	(2)	(4)	(△2)
地方公共団体補助金収入	5,947	1,929	4,018	借入金等返済支出	(150)	(150)	(0)
地方公共団体負担金収入	6,269	6,269	0	施設関係支出	(1,111)	(1,420)	(△309)
その他補助金収入	3	3	0	設備関係支出	(2,329)	(4,204)	(△1,875)
資産売却収入	(301)	(2,777)	(△2,476)	資産運用支出	(4,382)	(4,266)	(116)
付随事業・収益事業収入	(1,540)	(1,916)	(△376)	その他の支出	(14,365)	(12,830)	(1,535)
医療収入	(71,834)	(70,347)	(1,487)				
受取利息・配当金収入	(121)	(118)	(3)	資金支出調整勘定	(△10,392)	(△10,419)	(27)
雑収入	(937)	(951)	(△14)	翌年度繰越支払資金	(7,246)	(6,141)	(1,105)
前受金収入	(100)	(98)	(2)				
その他の収入	(17,041)	(17,817)	(△776)				
資金収入調整勘定	(△15,619)	(△13,587)	(△2,032)				
前年度繰越支払資金	(6,141)	(5,977)	(164)				
収入の部合計	102,344	101,738	606	支出の部合計	102,344	101,738	606

法人全体の教育研究活動等に伴う全ての収入と支出を明らかにする資金収支計算書における決算額は、102,344百万円となった。

◆資金収支計算書のここ5年間の推移



※上表はここ5年間の資金収支計算書における収入・支出の主要科目の推移を表している。折れ線グラフは平成28年度を起点とした医療収入及び人件費並びに医療経費支出の伸び率を表している。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

教育活動収支	科目	R2決算	R1決算	差異	教育活動	科目	R2決算	R1決算	差異
		学生生徒等納付金	(3,564)	(3,564)			(0)	受取利息・配当金	(121)
手数料	(60)	(69)	(△9)	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)		
寄付金	(613)	(573)	(40)	教育活動外収入計	(121)	(118)	(3)		
経常費等補助金	(14,022)	(10,313)	(3,709)	事業活動支出の部	科目	R2決算	R1決算	差異	
国庫補助金	3,316	2,870	446	借入金等利息	(2)	(4)	(△2)		
地方公共団体補助金	4,434	1,171	3,263	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)		
地方公共団体負担金	6,269	6,269	0	教育活動外支出計	2	4	△2		
その他の補助金	3	3	0	教育活動外収支差額	119	114	5		
付随事業収入	(1,540)	(1,916)	(△376)	経常収支差額	△1,748	△5,977	4,229		
医療収入	(71,834)	(70,347)	(1,487)	事業活動収入の部	科目	R2決算	R1決算	差異	
雑収入	(937)	(951)	(△14)	資産売却差額	(0)	(78)	(△78)		
教育活動収入計	92,570	87,733	4,837	その他の特別収入	(1,861)	(857)	(1,004)		
科目	R2決算	R1決算	差異	特別収入計	1,861	935	926		
人件費	(36,697)	(36,438)	(259)	事業活動支出の部	科目	R2決算	R1決算	差異	
教育研究経費	(4,865)	(5,413)	(△548)	資産処分差額	(749)	(94)	(655)		
医療経費	(46,709)	(45,509)	(1,200)	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)		
管理経費	(3,291)	(3,573)	(△282)	特別支出計	749	94	655		
徴収不能額等	(2,875)	(2,891)	(△16)	特別収支差額	1,112	841	271		
教育活動支出計	94,437	93,824	(613)	[予備費]	/	/	0		
教育活動収支差額	△1,867	△6,091	(4,224)	基本金組入前当年度収支差額※	A	△636	△5,136	4,500	

事業活動収入計	94,552	88,786	5,766	基本金組入額合計	B	△1,367	△2,623	1,256
事業活動支出計	95,188	93,922	1,266	当年度収支差額(C=A+B)	C	△2,003	△7,759	5,756
基本金組入前当年度収支差額 (※再掲:いわゆる損益収支)	△636	△5,136	4,500	前年度繰越収支差額	D	△95,015	△87,256	△7,759
				基本金取崩額	E	2,000	0	2,000
				翌年度繰越収支差額(F=D+C+E)	F	△95,018	△95,015	△3

貸借対照表より

基本金合計	G	244,682	245,315	△633
純資産額(H=G+F)	H	149,664	150,300	△636

単年度における法人の経営状況を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計が94,552百万円、事業活動支出計が95,188百万円となり、その差額である「基本金組入前当年度収支差額※」(いわゆる損益収支)は636百万円の赤字となったが、令和2年度末の大学の財政状況を表した「純資産額」(基本金+翌年度繰越収支差額)は149,664百万円となっており、大学の運営に支障をきたすものではない。

しかしながら、収支改善は喫緊の課題であり、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な状況にある中で、引き続き、重症患者の受け入れなど新型コロナウイルス感染症対応を行うとともに、医療収入の確保や医薬材料費の節減等に向けた具体的な取組みを不断に進め、経営改善に取り組んでいく必要がある。

◆基本金組入前当年度収支差額(いわゆる損益収支)と純資産額の推移

(単位:百万円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
基本金組入前当年度収支差額 (いわゆる損益収支)	2,509	2,538	4,164	1,695	2,867	2,488	△43	△2,443	△3,537	△3,975	△5,411	△5,136	△636
純資産額	157,093	159,631	163,795	165,490	168,357	170,845	170,802	168,359	164,822	160,847	155,436	150,300	149,664